

地方創生実現のための保護者向け就職ガイダンス

熊本県立翔陽高等学校

熊本県の高校生の就職については、従来から大きな二つの課題があるといわれています。一つは県内の高校卒業後、首都圏、中京地区への人材流出であり、もう一つは、高校卒業後初職に定着せず、三年以内に離職してしまい、その後安定就労の道が閉ざされてしまうことです。

以上の二つの課題を考え合わせたとき、保護者にも地元事業所の業務内容や特徴などを知っていただき、生徒と保護者の企業選択時におけるミスマッチを防ぎ、地元事業所への生徒の定着を図るため保護者向けの就職ガイダンスを熊本県県北広域本部



と地元で立地する事業所様に全面的に御支援いただき3月11日（金）、翔陽高校において開催しました。

まず、前半は、全体に対して半導体製造、農業協同組合、機械製造、サービス、ホテル、医療看護介護、建設等の7事業所から主に業種、業界の全体概要の説明がありました。

後半は、7事業所ごとのブースに分かれ、それぞれの事業所の説明と求められる人材像などについて説明がありました。保護者からも積極的な質問があり、それに対して事業所からアドバイスをいただきました。

- 「ホテルマンはイメージと現場とのギャップが大きい。我慢することが大切。」
- 「医療看護介護の現場には感性豊かで心優しく、コミュニケーション能力の高い人材が求められる。」
- 「きついこともあるが、建設・土木の仕事は実力があれば給料が上がっていく。」等のアドバイスがあり、保護者は、メモを取りながら熱心に聴き入っていました。

約90名の保護者の参加がありましたが「先入観で業種を見ていたが、幅広く子どもに、アドバイスできる機会になった。」等の感想がありました。

事業所側も「とても良い企画。このような保護者へのガイダンスは企業PRにもなり優秀な人材確保にもつながる」と意見がありました。

平成28年度も、今回のガイダンスの課題・反省を踏まえて、さらに充実した内容になるよう実施していきたいと思えます。

